

博物館だより



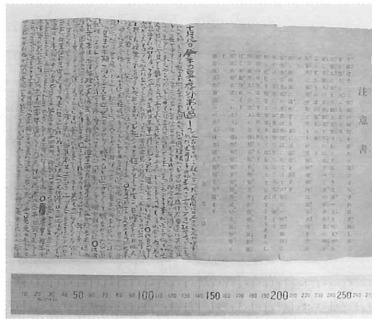
No.169

令和2年12月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

◆博物館「おススメ」逸品レポート
この展示(&収蔵資料)
「コ」が見どころ、「ロ」がツボ!!

「ロ」であつてもなくても博物館の魅力は収蔵資料が持つ多彩な価値と情報です。当館には町の豊かな歴史と文化が育んだ沢山の「逸品」資料があり、以下にその一部をご紹介します。



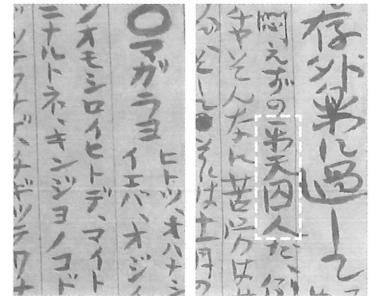
▲概ねB5サイズの折込半分(両面)に5mm四方以下の極細文字で2千字強が記される堺書簡(表)

●資料解説&メモ

「日本社会主義運動の父」と称された堺利彦は、その思想が当時の政權から危険視され、出版を始め活動が反社会的だとして投獄だけでも5回に及びました。

明治四十二年の投獄は「赤旗事件」を主謀したというもので、事件自体は他愛もないものでしたが、政權側の「社会主義者を網打尽にして抹殺」ことの目論見から重禁固一年の重刑に処されました。

収監された堺はこれに怯まず、刑期を格好の修学期間と考え、一月に一度だけ許された家族宛の手紙に『資本論』を始め様々な思想・学術書の差入れを求めました。更にはその手紙



▲右: 怒らず悶えずの楽天囚人と記す妻為子宛部分(枠内)
左: 丁寧な楷書で面白話を記す娘真柄(マガラ)宛部分

●資料名

堺為子宛堺利彦書簡

*全一十五通の獄中書簡の「堺利彦資料より」
*本書簡は堺・葉山・鶴田顕彰会寄託資料

●データファイル

・法量等: タテ17mm *ヨコ27mm
・制作年代: 明治42(一九〇九年)10月8日
・ポイント: 翌年起こる「大逆事件」直前の動向を記す貴重
な手紙

●公開状況: 保存のため通常非公開

に家族は勿論、同志や支援者への通信をこまめに書込み、社会主義の灯を絶やさぬ知恵や絆の確保に努めました。

手紙は限られた紙面に超極細文字で綴られますが、注目されるのは苦境下にあつてユーモアを忘れない堺の心性で、自らを「楽天囚人」と称しています。この心性は以後の「社会主義」の時代を乗切る重要な鍵となつてゆきます。



▲出獄後「売文社(編集出版社)」を始め成功した頃の堺(47歳)

◆講座・教室・催し物ガイド 11月の歴史講座

- 【漢詩紀行講座】
12月5日(土) 9時30分
 - 【古文書講座】
12月12日(土) 10時
 - 【古典かな講座】
12月19日(土) 9時30分
 - 【みやこ(学)講座】※現地見学予定(詳細別途)
12月20日(日) 9時
- ※日程等変更となる場合があります。
※見学会等は別途ご案内します。

博物館で「楽習」始めませんか?

博物館は郷土資料と学芸員らのサポートによる知と学びの拠点です。以下の会や講座を利用して楽しく学びませんか? 詳しくは博物館へお問合せ下さい!

★博物館友の会

バスハイク・歴史たんけんウォーク等の学びの旅やイベントに参加できます。

★文化遺産ボランティア養成講座

町の宝をガイド&ガードするスタッフを募集・養成する講座です。今からでも大丈夫!

年末休館のお知らせ

博物館では館内整理と燻蒸作業のため左記の期間休館いたします。この間の博物館や文化財業務に関することは左記へお問合せ下さい。なお、新年は1月5日(火)から開館いたします。

・休館の期間

- 12月24日(木)~1月4日(月)
- (28日以降は通常の年末年始休館)
- ・休館中の問合せ先 ※但し12/24~12/27のみ
☎33-33115(豊津公民館)

10月の業務日誌から

- 10月27日(火)、犀川小学校3年生の児童40名が、犀川の歴史の授業で博物館を訪れました。学校や住んでいる地域ゆかりの資料が多数展示されていることに驚きの様子で、犀川の歴史の奥深さを感じることができました。
- 10月27日(火)、博物館の展示室で、西日本工業大学の地域連携事業「京築学」のリモートによる講義が行われました。パソコン画面の向こう側で約100名の大学生に聴講していただき、展示資料をタイムリーにご紹介することができました。



▲生立八幡神社の「僧形八幡神座像」(福岡県指定文化財)の前で



▲コロナ禍中における博物館活動を模索する中、とても参考になる講義となりました

みやこの歴史発見伝 132 令和とその時代 13

— 古代の文房具 ① —

弥生の硯

10月、みやこ町勝山黒田と隣接する行橋市の「下稗田遺跡」で、約40年前に出土した弥生時代の石器の中に「硯」が確認され、うち一点は国内最古級と各種マスコミで報道されました。「硯」は「墨を磨る道具」がその語源とみられています

約2200年前の中国の出土品にみることであります。日本には、推古天皇18年(610)高句麗の僧「曇徴」によって墨が伝えられた記録がみられますが、詳細は不明です。現在、ユネスコの世界遺産に登録されている東大寺(奈良県)の「正倉院」には国内でも「最古級」の墨16挺が宝物として伝存されています。

そのうちの1挺「天平宝物墨」は天平勝宝4年(752)4月9日の大仏開眼に用いられたものと伝えられています。この当時、諸国から中央へ納められた各種の税物をまとめた「納税リスト」には、大宰府から年間450挺の墨が貢納された記録や、天台宗の開祖「最澄」が大宰府に立寄った際に筑紫墨をもらったという伝承が残るなど、当時の大宰府が国内有数の墨の生産拠点であったことが伺えます。これらの墨は中国の墨

に類似していたことから「唐墨」という名称で呼ばれています。が、ボラ等の卵巣を塩蔵、乾燥させた食品「からすみ」はこの墨の形状に由来するといわれています。

硯は平安時代の倭名類聚抄(平安時代に作られた辞書)では「須美須利」と記載されていますが「源氏物語」や「枕草子」には「すざり」の文字が使われています。奈良時代の硯の多くが陶製で、最初から硯として製作された製品はその使用が、特定の階層の役人に制限されたとみられ、多くの役人は、須恵器等の陶片を二次的に利用した「転用硯」を使用したことが発掘調査等で確認されています。豊前の国(現在の北九州市から大分県宇佐市を含む地域)の国庁(現在の都道府県庁)跡である「豊前国府跡」(みやこ町国作)から出土した「円面硯」は「県庁の役人」にふさわしい文房具として用いられたことが伺えます。

「文字」を記すため、様々な文具が発明されますが、日本では中国等と同様に「墨」が用いられてきました。現存する国内最古級の墨は「令和」の歌が詠まれた奈良時代のもので、この中にはみやこ町から出土した墨も含まれています。今回はみやこ町から出土した「国内最古級の墨」と奈良時代の硯についてご紹介いたします。

墨は松や油を燃焼させた際の煤煙を膠、漆の溶液等で練り固めたものです。現在と同様の墨は、

墨に込められた「親の願い」
出産に伴う胎盤などの後産の別名を「胞衣」と呼びます。「胞衣」は、現在、美容や医療分野で広く活用されている「プラセンタ」の原料としても知られます。奈良時代、国内各地でこの胞衣を壺などの容器に入れて、新生児の健やかな成長や立身出世を願う家の玄関などに埋める儀式が行われました。新生児が男子であれば墨や筆、女子は紅や針などを一緒に埋める傾向がみられます。

このような事例から、徳永川ノ上遺跡から出土したこの壺は「胞衣壺」とみられています。奈良時代の胞衣壺から墨が発見された事例は奈良の都、平城京でもわずかに2例で、国内でも数例にとどまり

ます。さらに製作者名が確認できる唐墨は、前述の正倉院宝物中の三点のみである事から、みやこ町で出土した唐墨は非常に重要な出土事例に位置付けられます。また豊前国府から約1kmと比較的近い場所から出土したこと等から、子に将来「豊前国府の上級役人になってほしい」という親の願いが込められたものでは？との解釈もあります。対象となった人物がどのように成長したのか把握することはできませんが、奈良時代の墨が出土した希少性と併せて、現在と同じように、子の健やかな成長を願う「1300年前の親の願い」を感じることができ、数少ない考古資料としても大変興味深い事例といえます。

墨の歴史

墨は松や油を燃焼させた際の煤煙を膠、漆の溶液等で練り固めたものです。現在と同様の墨は、



円面硯(豊前国府跡出土)

国内最古級の「墨」の発見

今から30年ほど前、椎田道路建設に伴う徳永川ノ上遺跡(みやこ町徳永)の発掘調査で蓋をした壺の中から一本の墨が発見されました。蓋の型式などから8世紀後半頃に作られた奈良時代の「唐

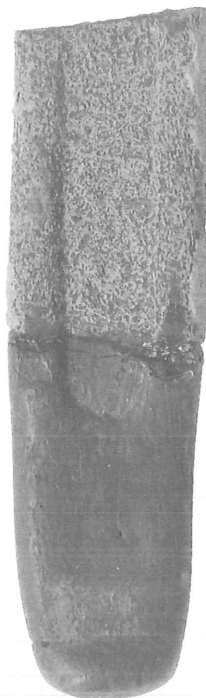
墨」が確認され、これは国内最古級の墨と見られています。この墨は、推古天皇18年(610)高句麗の僧「曇徴」によって墨が伝えられた記録がみられますが、詳細は不明です。現在、ユネスコの世界遺産に登録されている東大寺(奈良県)の「正倉院」には国内でも「最古級」の墨16挺が宝物として伝存されています。

墨に込められた「親の願い」
出産に伴う胎盤などの後産の別名を「胞衣」と呼びます。「胞衣」は、現在、美容や医療分野で広く活用されている「プラセンタ」の原料としても知られます。奈良時代、国内各地でこの胞衣を壺などの容器に入れて、新生児の健やかな成長や立身出世を願う家の玄関などに埋める儀式が行われました。新生児が男子であれば墨や筆、女子は紅や針などを一緒に埋める傾向がみられます。



唐墨が入っていた胞衣壺(徳永川ノ上遺跡出土)九州歴史資料館所蔵

(井上信隆)



唐墨(徳永川ノ上遺跡出土)九州歴史資料館所蔵 ※ほぼ原寸大です